

地域管理経営計画の概要

紀中森林計画区（和歌山県）

1 森林計画区の概況

国有林野面積は2,323haであり、和歌山県中央に位置し、内陸部に4団地が点在しています。

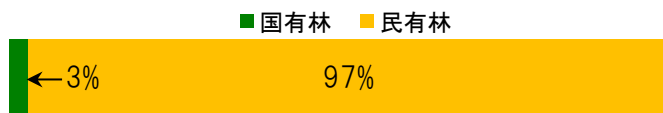


計画区内の総土地面積に占める国有林野の面積割合は2%、森林面積に占める割合は3%となっています。国有林野のうち98%が水源かん養保安林に指定されており、重要な水源涵養機能の一端を担っています。

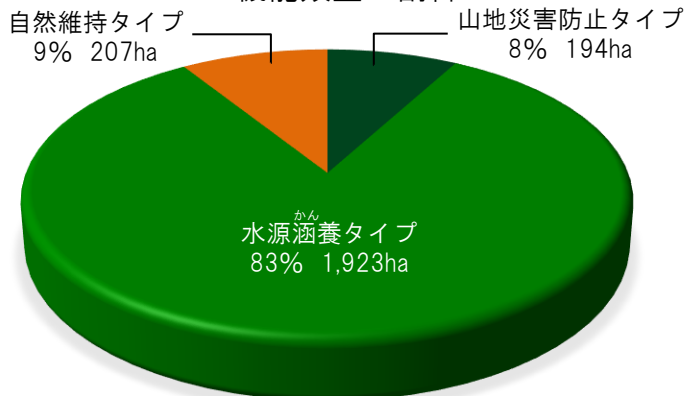
国有林野面積の人工林率は82%と高く、森林蓄積の約8割が10齢級以上と森林資源として成熟した林分となっており、公益的機能の高度発揮を図りつつ、木材の安定供給に努めることとしています。

また、一部国有林が「高野龍神国定公園」に指定されており、保健休養の場として利用されています。

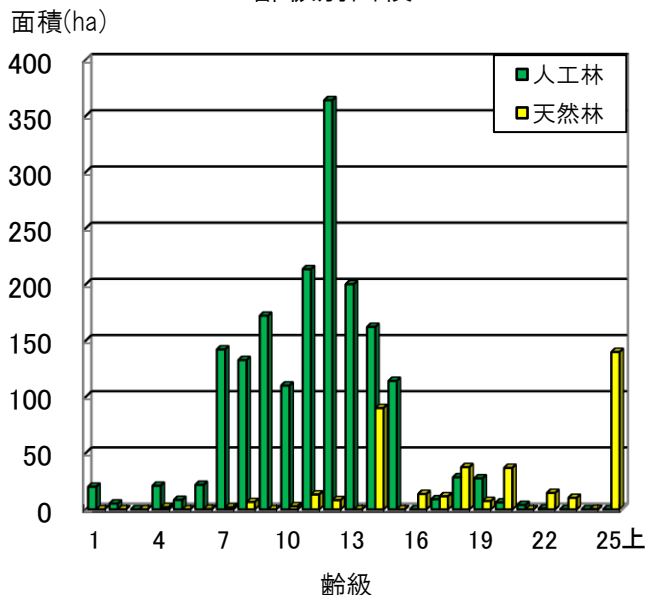
森林計画区内における森林面積の割合



機能類型の割合



齢級別面積



注1 各データは令和7年現在。

注2 四捨五入等により内訳と合計が合わない場合がある。

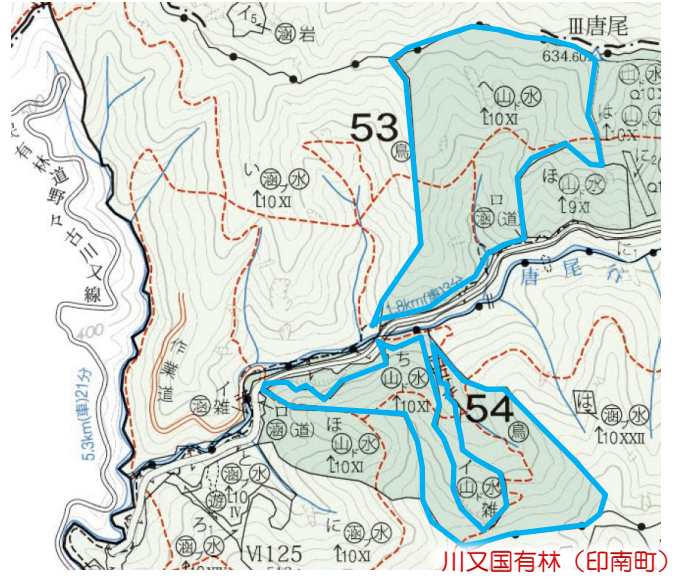
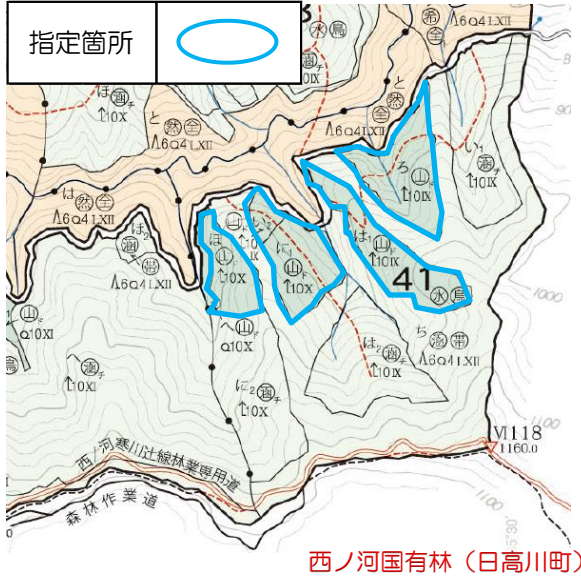
注3 齢級とは、5年をひとくりにし、林齢1~5年生を1齢級、6~10年生を2齢級、以下、3齢級、4齢級と続く。

2 計画策定にあたってのポイント

(1) 森林の土地の保全のため林産物の搬出方法を特定

山地災害の発生により人命・施設への被害のおそれがあると認められ、かつ、急傾斜地にある又は地形等から森林作業道等の作設が不適切であることが明らかな森林については、「森林の土地の保全のため林産物の搬出方法を特定する必要のある森林」として計画区内で55.56haを指定し、搬出の方法は原則として架線集材によることとします。

【森林の土地の保全のため搬出方法を特定する必要のある森林として指定した代表的な国有林】



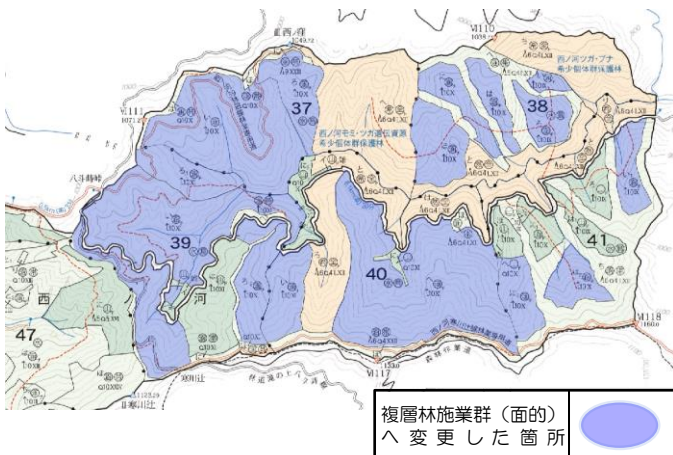
(2) 森林の有する多面的機能の発揮に向けた施業群の変更

森林・林業基本計画において、急傾斜地や林地生産力の低い森林のうち、公益的機能と木材等生産機能の発揮を同時に期待する森林については、帯状等の伐採と植栽による確実な更新より育成複層林へと誘導することとされています。

このため、水源涵養タイプの人工林のうち一定の条件に見合うものについては、育成複層林へ誘導する施業を行う「複層林施業群（面的）」へ変更しました。

施業群	新計画 (ha)	現計画 (ha)	現計画比 (ha)	変更前の施業群
複層林施業群（面的）	183.65	—	+183.65	長伐期施業群

【育成複層林へ誘導する国有林】



3 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

主要事業量（令和8年度～令和12年度：5か年）

森林の有する公益的機能を持続的に発揮させるため、734ha（8.5万m³）の間伐を実施し、間伐材の有効利用に努めます。

また、68ha（2.5万m³）の主伐を実施します。

事業区分		新計画	現計画	増減事由
伐採総量	主伐	68ha (24,744m ³)	107ha(28,175m ³)	対象となる分収林の減
	間伐	734ha (85,278m ³)	670ha (70,700m ³)	間伐対象林分の増
更新総量	人工造林	73.07ha	55.70ha	現計画の未新植に伴う増
	天然更新	2.06ha	37.18ha	対象箇所の減少に伴う減
保育総量	下刈	238.47ha	214.87ha	人工造林の増加に伴う増
	除伐	15.66ha	20.98ha	対象箇所減少に伴う減
林道事業	開設	1,500m	1,000m	森林整備箇所に応じた増
	改良	160m	2,120m	修繕箇所の減少に伴う減
治山事業	保全施設	5箇所	5箇所	—
	保安林の整備	118.46ha	28.07ha	整備対象森林の増加に伴う増

- 注1 主伐とは、利用期に達した樹木を伐採し収穫すること。間伐と異なり伐採した後に更新を行う。
 注2 間伐とは、育てようとする樹木どうしの競争を軽減するため、混み具合に応じて一部の樹木を伐採すること。
 注3 更新とは、伐採等により樹木がなくなった箇所において、植林を行うことや自然力の活用等により森林の世代が替わること。
 注4 除伐とは、育てようとする樹木の生長を妨げる他の樹木を刈り払う作業。通常、育てようとする樹木の枝葉が互いに接する状態になるまでの間に行う。

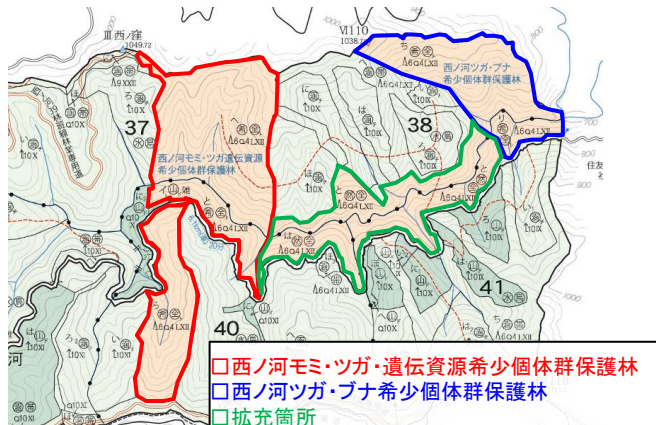
4 国有林野の維持及び保存に関する事項

(1) 保護林

本計画区には、希少な野生生物の生育・生息に必要な森林を保護・管理する「希少個体群保護林」を1箇所設定しており、モニタリングや巡視を通じて厳格に保護・管理しています。なお、既存の保護林を統合し、隣接する同等の植生区域を拡充することとします。

【保護林の統合・拡充】

【保護林内の様子】



名称	面積	特徴	国有林名(市町村)
西ノ河モミ・ツガ・ブナ 遺伝資源希少個体群保護林	84.75ha	南海型気候帯に属する高齢級のモミ・ツガ・ブナ天然林を保護し、林木の遺伝資源の保存	西ノ河 (日高川町)

(2) ニホンジカ等の被害対策

本計画区では、ニホンジカの生息密度が高く、植栽木や下層植生の食害が発生していることから、防護柵設置等の被害対策を行うとともに、自治体等と連携したくくり罠によるシカの捕獲、大型排水管を活用した残渣処理を行います。

【 低コスト資材の活用によるシカ防護柵 】



日光山国有林（有田川町）

【 大型排水管を用いた捕獲シカの残渣処理 】



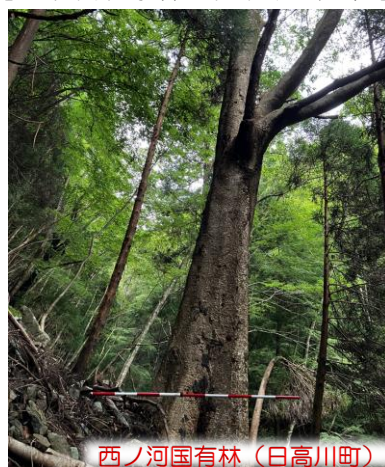
西ノ河国有林（日高川町）

5 林産物供給に関する事項

木の文化を支える森づくり

多様な森林資源を有している国有林野の特徴を活かし、民有林からの供給が期待しにくい世界文化遺産等に指定されている歴史的木造建造物の修復用材を供給するため、将来の修復用材の確保・供給を目的として、ケヤキの大径材育成が見込める箇所を「文化財継承林」に設定しています。

【 文化財継承林のケヤキ大径木 】



西ノ河国有林（日高川町）

6 国民参加による森林の整備に関する事項

森林環境教育の推進

豊かな森林環境を子どもたちに提供するため、学校、自治体、NPO、森林インストラクター、民有林関係者等多様な主体と連携しつつ、都市や農山漁村などの立地や地域の要請に応じた森林環境教育に取り組みます。

本計画区では、学校等による植林・育林等の体験活動や森林教室等の学習活動を支援するため、協定を締結して森林環境教育のフィールドを提供する「遊々の森」を設定しています。

【 遊々の森でわさび田を手入れ中の高専生 】



川又国有林（印南町）

名称	相手方	国有林名（市町村）	面積
川又遊々の森	和歌山工業高等専門学校	川又（印南町）	1.76ha